

リスク情報 1

プーリーの破損

湯沢で破損したプーリーをメーカーへ調査に出したところ、滑車以外のフレーム等の痛みを鑑みると以下の推測回答が来ました。

「スタート時においてワイヤーに体重を充分加重してから出発していないのでは？」
「そのため、滑車が浮いた状態から急激にワイヤーに接する事が多数回起こった事による破損」との推測回答がありました。

プーリーに付属している取り扱いマニュアルとZIPガイドマニュアルにもありますがブリーフィング時に、お客様に加重するよう説明をし(飛び込まない)コースに出てからもお客様が加重してから出発するようにガイドが誘導して下さい。お客様はコースに慣れてきたり、テンションが上がるとブリーフィングでの説明を忘れます。ガイドがチェックを怠らないようにお願いします。

本件に関してはガイドが行うパフォーマンスに関しても同様です。

★この動作を行うことによる破損はワイヤーにもおよびます。

素線破断がテイクオフから数メートル部分に集中しているのはこのことが主因です。

